



# さくらんぼだよ

7月号

令和元年7月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

## みんなで楽しみましょう！夏まつり！

例年よりも早い梅雨入りとなったものの、外遊びが大好きな子ども達は梅雨の天気肌寒さも何のその、雨さえ降らなければ外へと飛び出し、大きい子たちは、どんぐりの木に掛けられたロープでブランコあそびや木登りを楽しんでいます。小さい子たちも、そばで見ながらなんとか真似をしてやってみようとするものの残念ながらロープに手が届かず…。でも、築山から砂場の泥んこあそびが目に入ると、すぐさま築山を滑るように降りて砂場へ…。水を何度も汲んでは運びアツという間に泥だらけになっている子ども達です。そして、ターザンロープで遊んでいた子ども達の目にとまったのは…梅の木にびっしりとなっている梅の実。早速みんなで収穫すると、何と、12キロ！その日のうちに、スイミー組の子ども達は、梅干しとなる塩漬け、そして、各クラスでは、梅ジュースを作り、残りは梅みそとなり、子ども達は給食で毎日ご飯にたっぷりのせて美味しさを味わっているところです。また、畑の傍らの枇杷も今年はたくさん実をつけ食べごろになるのを今か今かと待っているところです。そして、畑では夏野菜のミニトマトをはじめ、なす、ピーマン、ジャガイモなどがぐんぐん育っているところです。

7月20日(土)は19回目の夏まつりです。

6月24日(金)には夏祭り実行委員の保護者の方々が集まり、クラスごとの役割や、近隣の皆さんにご迷惑をかけることなく地域の方々も一緒に楽しめるよう話し合いました。子どもたちも夏祭りを楽しみに、和太鼓や踊りなどの練習に励んでいます。おとうさん、おかあさん、地域の皆さん、夏の夕べのひと時をみんなで楽しみましょう！

2019・7・1 < 園長 中館 和子 >

## 行事予定

### お知らせ

<夏まつりだよ~！>

日時 7月20日(土) 16:00~18:45



“まつり”と思ったら“夜店”がこのところ合言葉になっているチェリーこども園です。食べて、遊んで、踊って、太鼓を叩き合って、地域の方たちもみんなが一緒になって心を躍らせることができるような楽しいまつりにしていきたいと思っています。皆さんどうぞご参加ください！

<草刈り隊あつまれ~！>

西多賀3丁目南公園(こども園下)の草刈りを行います。

ご協力よろしくお願ひします。

日時 7月6日(土) 早朝6:00~7:00(小雨決行)<雨天7月13日>

### おねがい



<プール遊びのルールを守りましょう！>

今年は長梅雨とも言われていますが、プールの掃除も一生懸命やっていた子ども達にとっては、早くプールに入りたいところ。プール遊びについては色々約束事がありますが、安全に楽しく遊びたいと思いますので、朝ご飯を食べてくるなどの約束事をお子さんと再度確認して下さい。

7月

日	曜日	行事
5	金	七夕会
6	土	3丁目南公園草刈り
8	月	発育測定
12	金	誕生会・避難訓練
20	土	夏まつり
31	水	夏まつり実行委員会反省会 スイミー組川遊び

8月

日	曜日	行事
2	金	スイミー組合宿
6	火	避難訓練
8	木	5ADAY食育体験ツアー
20	火	誕生会
29	木	川の生き物観察





4月から6月にかけて保育参観・懇談会が行われました。どのクラスにおいても日々の忙しい中での子育ての大変さがうかがわれました。

早く寝なさい！早く起きなさい！早く食べて！・・・と、早く早くとせかすことばかりの毎日、でも、親の思い通りにいくはずもなく、ついつい大きな声で叱ってしまう、もっと余裕をもって子どもを見てあげたい・・・。こうした子育て中の悩みは、だれしものが持つもの。子ども達もきっと毎日の事なので、早くしないとおとうさん、おかあさんが困ることも、自分が叱られることもわかっているはずなんです・・・。でも、子ども達にも子どもなりのいろいろな思いがあるが故に、中々素直にはなれない・・・。日々、親の都合で園に連れてこられている子ども達です。時には、子ども達がどんな気持ちでいるのかちょっと子どもと向き合って話を聞いてほしいかな、と思います。そして、子どもの気持ちを受け止めてほしいと思います。ただし受け止める事と受け入れることは違うので、何でもかんでも子どもの言うなりにはなることではありません。例えば、夜遅くに帰ってきたおとうさんと遊びたい、と言われた時、おとうさんも一緒に遊びたいよ、と受け止め、でも、もう遅い時間だから、今度の赤い日(休日)と一緒に遊ぼうね。と、受け入れることはできないことをしっかり伝えつつ、子どもが見通しを持てるように話をしあげ、これが、受け止めと受け入れの違いかと思えます。時間に追われ、余裕もなく中々できないかもしれませんが、社会で起きている様々な悲惨な事件を思う時、必ず問われてくるのが、幼い時、どのように育てられてきたか、ということです。母と子の関係が人間関係の基礎ともいわれています。大好きなおとうさん、おかあさんに気持ちを分かってもらえているという安心感は心のよりどころとなり、また、様々な困難を乗り越えるための大きな支えとなって、生きていく力が培われていくのではないかと思います。子ども達の健やかな成長のためにも、子どもの気持ち、ちょっと考えてみましょう！



母と子の  
絵本棚



「きんぎょがにげた」 出版社 福音館  
五味 太郎 ぶん・え

小さな子どもにも分かりやすい色で描かれたいろんな形。そこに向かって「だれか かかれてるよ でてこい でてこい」と呼びかけると、その形から動物たちが次々飛び出してくるとても楽しい絵本です。



「14匹のあさごはん」 出版社 福音館  
かこ さとし ぶん・え

こんな一日の始まりってすてき！とつい思わせてくれるような14匹の家族のお話。みんなで協力して朝ご飯の準備、当たり前のことのようだけど、日々の何気ないことが幸せ感をもたらしてくれることに気付かせてくれるような、心が温かくなる絵本です。

わらべうたであそぼう

♪ にゅうめん そうめん ♪



ニューメン ソーメン ヒヤリーメン



オキヨラアローノ ブキヤノ ツネコサン



チンビチンビ チンビチンビ ダイコンオロシ ダイコンオロシ

店ですか？ 奥ですか？

○店の時は

「いらっしゃいませ」「いらっしゃいませ」と言いながら掌からだんだん上に上がっていき、最後に「まいど」といって脇の下をくすぐる。

○奥の時は

直ぐ、脇の下をくすぐる。

版画  
「のはらうた」 くだう なおこ作より

